

4月6日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を死滅させる有害プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・その他珪藻類は少なめでした(優占種はキートセロス;すべての調査定点で10細胞/mL以下)。
- ・播磨灘沖合の表層水温は約12℃、塩分は約31~32の範囲で推移しています。

表: 2021年4月6日 有害・有毒プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オパータ	カレニア・ミキモイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	旧アレキサンドリウム・タマレンセ	旧アレキサンドリウム・カテナラ
KA23	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
HK1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0

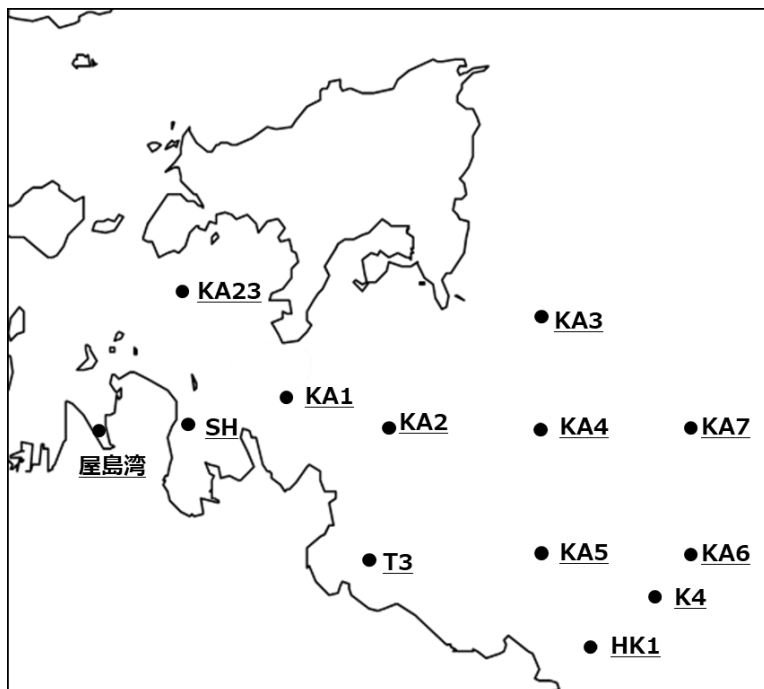
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL